

第92回サイエンスカフェ
2014.7.18（金）18:30～20:30

巨大地震大津波に備える 先進科学技術

ー南海トラフ巨大地震を例にしてー



震源域のリアルタイムモニタリング



震源域周囲プレート境界物質採取孔内計測



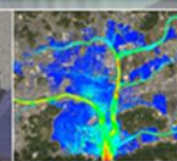
地球シミュレータ
スーパーエディューター
データ同化
予測モデルの高度化



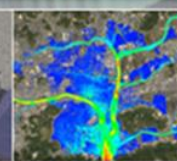
海域精密調査
震源域（地震の巣）の解明実験



高精度津波予測



高精度地震動予測



耐震設計・耐波設計の高度化



南海トラフで発生する巨大地震大津波では、地震動被害や大津波被害に加えて地盤沈下、液状化、さらに津波火災等の広域複合災害が想定されています。

この甚大な広域複合災害に備えるための先端的研究が進められています。

例えば、①地震津波発生予測研究、②地震津波の早期検知研究、③被害予測や避難のための最新シミュレーション研究さらには防災

教育といった様々な研究が実施されています。

本サイエンスカフェでは、これら研究の最前線を紹介し、今後の減災研究のあり方についてお話ししたいと思います。

ゲスト

金田義行さん

名古屋大学

減災連携研究センター特任教授

コーディネーター

室伏きみ子さん

お茶の水女子大学名誉教授

会場：サロン・ド・FUZAMBO Folio

千代田区神田神保町1-3 富山房ビルB 1

Tel：03-3291-5153

E-mail：folio@fuzambo-intl.com

参加費：1名1,000円（1ドリンク、デザート付）

主催：日本学術会議・富山房インターナショナル